

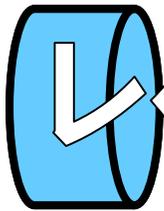
富山市 細入地区・下夕地区 福祉防災マップ



せんちょうこうきゅうかい

作成 社会福祉法人宣長康久会
特別養護老人ホームささづ苑
協力 富山短期大学

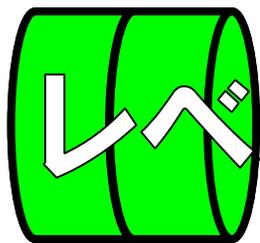
警戒レベル



レベル1

防災グッズを確認しましょう

警報級の可能性：災害への心構えを高める

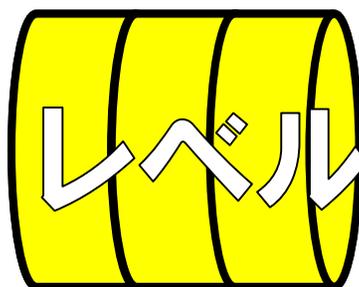


レベル2

あなたが連絡しておく人は？

※名前と連絡先を記載しましょう

注意報：ハザードマップ等で避難行動を確認

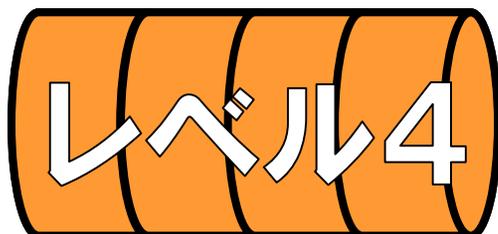


レベル3

どこへ逃げる？

※避難場所を記載しましょう

避難準備：高齢者等は速やかに避難



レベル4

レベル3の避難先に行けない場合や、かえって危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ

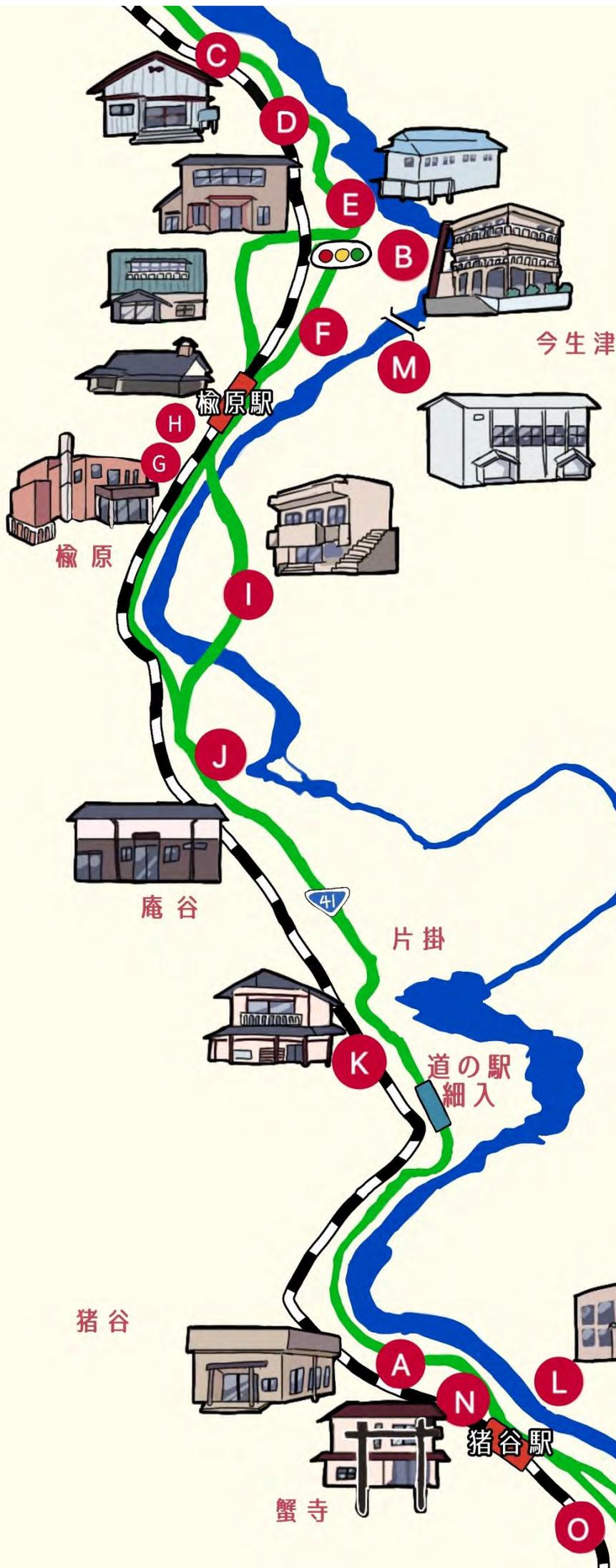
避難勧告・避難指示（緊急）：速やかに避難する。



レベル5

- ・急斜面からできるだけ離れる
- ・できるだけ高い場所へ移動
- ・近くにあるコンクリートなどの丈夫な建物の2階へ避難する

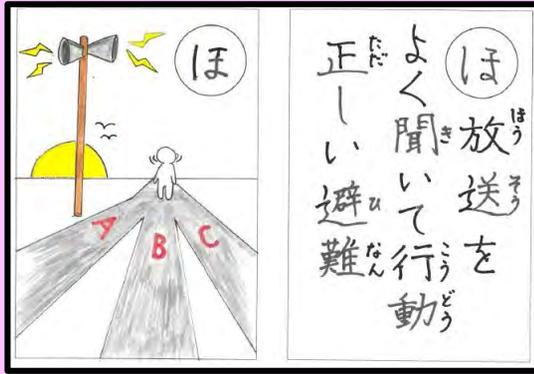
災害がすでに発生しており、**命を守るための最善の行動**をとる



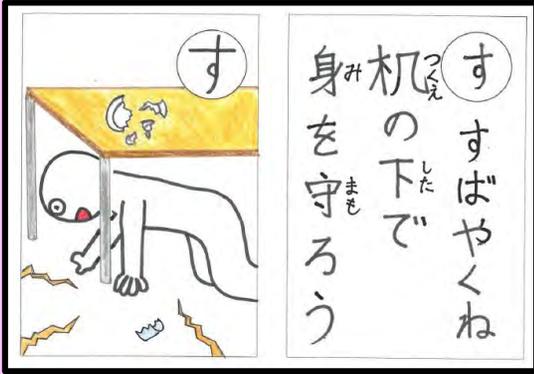
A	B	C	D	E	F	G	H
南部地区コミュニティセンター	神通碧小学校	西笹津集落センター	岩稻地区公民館	富山県漕艇場	榎原公民館	細入公民館	細入総合福祉センター

I	J	K	L	M	N	O
下夕北部地区福祉センター	庵谷地区公民館	片掛地区公民館	下夕南部地区福祉センター	下夕北部体育センター	猪谷関所館	蟹寺地区公民館

1km



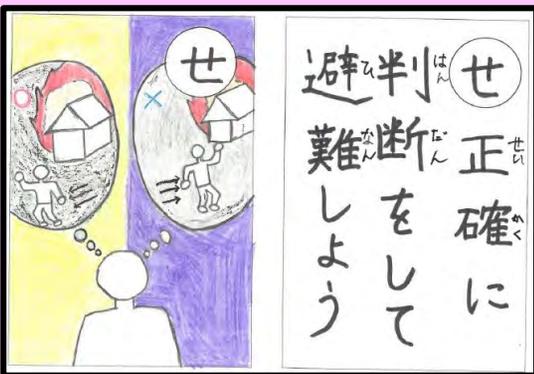
ほ
よく聞く
正しい
避難
放送
送る
行く
動作



す
すばやく
机の下で
身を
守ろう



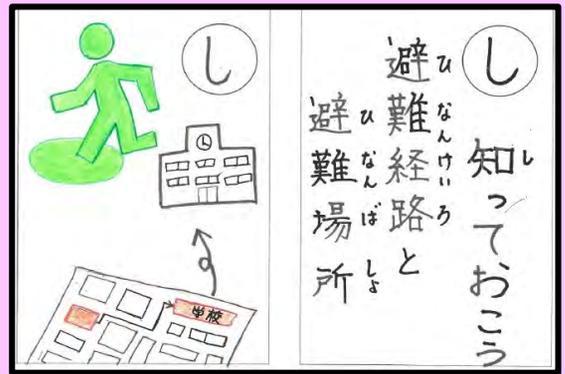
も
持ち物の
準備を
しっかりと



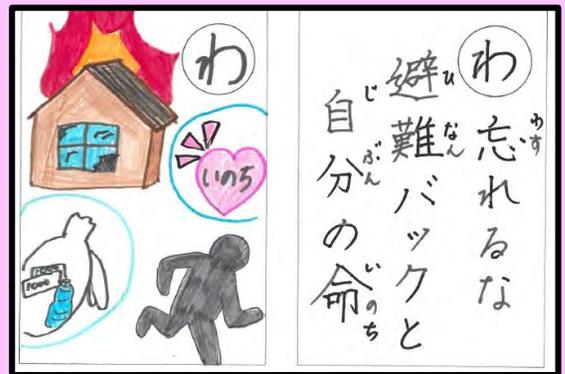
せ
判断
避難
断を
して
正確に

榆中防災カルタ

(榆原中 一年生・二年生作品)



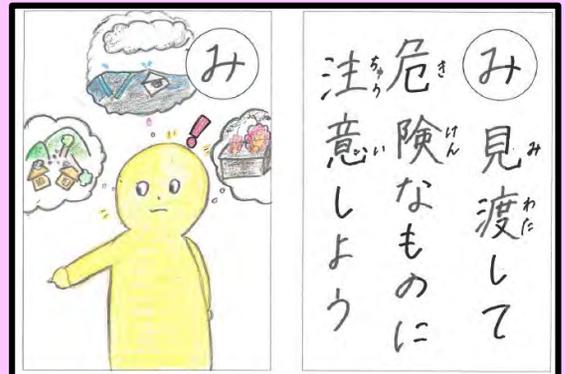
し
避難経路と
避難場所
知っておこう



わ
忘れな
避難バックと
自分の命



ま
まだまだ大丈夫
その気のゆるみが
命取り



み
見渡して
危険なものに
注意しよう

編集後記

社会福祉法人宣長康久会 ささづ苑では、公益的取組の一環としてこの「福祉防災マップ」を地域の皆様とともに作成しました。災害はいつ起きるのかわかりません。いざという時に迅速に対応できるよう、日頃からの準備が必要です。

マップだけでは、不備もあるかと思いますが、皆様の避難の備えになればと思います。ぜひ見える所に貼るなどしてお使い下さい。

「福祉防災マップ」

令和2年3月15日発行

作成者：社会福祉法人宣長康久会

ささづ苑 076-467-1000

イラスト：野島菜々子

(富山短期大学食物栄養学科学生)

協力：明柴聰史

(富山短期大学幼児教育学科講師)

もちもの

※各家庭の環境に合わせて必要なものを準備して下さい。

飲料水、携行食	タオル、下着	携帯電話、充電器、ラジオ
現金	トイレトーパー	健康保険証
携帯カイロ	ごみ袋	救急用品、薬、お薬手帳
懐中電灯	ビニール袋、食品包装用ラップ	

※妊産婦・乳幼児については、母子健康手帳や粉ミルク、おやつ等を準備。
 ※持病などがある方は、かかりつけ医に対応を相談しておきましょう。

避難所の設備一覧 ※ A、B は一次避難所

	車椅子用 トイレ	トイレ の形式	AED 台数	駐車場 収容台数	出入口 スロープ	屋内 階段	トイレ内 ベビー チェア	小学校まで の距離(車)	小学校まで の距離(歩)
A	○	洋	2	11	○	×	×		
B	×	洋	2	30	×	○	×	—	—
C	×	和	×	×	×	×	×	4分 (3.1 k m)	55分
D	×	洋	×	10	×	○	×	3分 (2.0 k m)	45分
E	×	洋	1	72	○	○	×	4分 (1.7 k m)	45分
F	×	洋	×	20	×	○	×	3分 (650m)	20分
G	○	洋	1	10	○	○	×	3分 (1.3 k m)	30分
H	○	洋	1	30	×	○	×	3分 (1.1 k m)	30分
I	○	洋	1	30	○	○	×	4分 (1.9 k m)	45分
J	×	洋	×	30	×	×	×	15分 (4.4 k m)	55分
K	×	洋	×	10	×	○	×	7分 (5.0 k m)	90分
L	○	洋	1	24	○	×	○	25分 (16.6 k m)	210分
M	×	和	×	15	×	×	×	3分 (1.0 k m)	30分
N	×	和	1	20	○	○	×	11分 (8.1 k m)	150分
O	×	洋	×	×	×	○	×	15分 (10.8 k m)	145分



福祉避難所とは？

福祉避難所とは、お年寄りや病気、障がいを持った方、妊産婦や乳幼児など、一般的な避難所では生活が難しい人たちを受け入れるための場所です。

災害が発生した場合は、相談の上でベッドや食事の支援を受けることができます。

要援護者の方たちがスムーズに避難できるよう、利用にはいくつかの条件があります。

1. **まずは一般避難所**に避難してください。
(福祉避難所への一次避難はできません。)
2. 一般避難所で、自治体職員などが身体の状態などを考慮して優先順位を決め、福祉避難所への移動を決定します。
3. 福祉避難所への移送は、避難する方の家族や一般避難所の運営スタッフなどが行うことが原則です。



福祉避難所としてのささづ苑 ～設備のご紹介～



ささづ苑では、福祉避難所として上に記載された方々を受け入れることができます。

全館バリアフリーで、下記のような設備を整えております。

トイレ

合計37か所のトイレを備えています。うち、車いすでも利用できる多目的トイレは15か所です。

おむつ類

紙おむつや尿とりパッドを豊富に取り揃えています。

ベッド

避難された方が使用できるベッドは13台あります。頭と足の角度、高さが調整できるベッドです。

食事

50人以上の非常食が常に備蓄されており、定期的に入れ替えと見直しを行っています。

医薬品

抗生剤、鎮痛薬などの医薬品を備蓄しています。

車いす等

様々な大きさや機能の車いすや福祉用具（歩行器、移乗用具）を取り揃えています。

駐車場

50台収容可能な駐車場を備えています。

福祉避難所への避難は、家族同伴が可能です。

